

早稲田大学 文化構想学部  
2021年度 入試問題の訂正内容

<文化構想学部 一般選抜>

【世界史】

●問題冊子3ページ：〔Ⅱ〕 問題文6行目

(誤)

～ 軍神マルスと・・・  
E

(正)

～ 軍神マルスと・・・  
E

※「と」の下線を外す。

以上

〔I〕 次の文章を読んで設問1～5に答えなさい。

古代オリエントの統一を果たしたのはアッシリアであった。アッシリアは紀元前2000年紀に興り、アナトリアとメソポタミアを結ぶ交易により繁栄した。一時期、ミタンニ王国に従うことになったが、<sup>A</sup>鉄製の武器や戦車、騎馬隊を組織し、紀元前9～8世紀にかけて、西アジア全域に進出した。紀元前7世紀前半、<sup>B</sup>の治世下で最大版図におよび、さまざまな民族を支配する最初の世界帝国となった。しかし、アッシリアの最盛期は続かず、紀元前612年に新バビロニアとメディアによって、その都<sup>C</sup>ニネヴェを攻略され滅亡するに至った。

アッシリア滅亡後は、エジプト、リディア、新バビロニア、メディアの四王国分立時代を迎えるが、<sup>D</sup>アケメネス朝ペルシアの台頭により、再びオリエントが統一されることとなった。その第三代王<sup>E</sup>ダレイオス1世の時代にはエーゲ海沿岸、エジプトからインダス川流域に至る広大な領土を支配したが、ペルシア戦争を経て、紀元前330年マケドニアのアレクサンドロス大王に敗れ、滅亡した。

アッシリアやアケメネス朝の盛衰は、広大な版図のうちに、政治的統一性と文化的多様性を内包する帝国を維持することの困難さを物語っている。

設問1 下線部Aについて、もっとも早く鉄器を使用したものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア フェニキア人      イ ヒッタイト人      ウ アッカド人      エ シュメール人

設問2 空欄Bにあてはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cの宮殿跡で発見された施設から見つかった資料の研究が進んだ結果、古代オリエント研究の基礎が築かれた。この施設はどのような機能をもつものであったと考えられているか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 図書館      イ 天文台      ウ 造幣所      エ 公衆浴場

設問4 下線部Dの王朝による統治形態の説明として誤っているものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 新たに支配下に加えた地域には重税を課し、強制移住など圧政をもって服従を強いた。
- イ 全土を20余りの州に分け、各州にサトラップをおき、治安維持、徴税などにあたらせ、広大な領土の統治を進めた。
- ウ 王直轄の「王の目」「王の耳」と呼ばれる監察官を巡回させ、サトラップの動向を監視した。
- エ スサからサルデスに至る道をはじめとした「王の道」をつくり、沿道には宿駅を設け駅伝制を整備した。

設問5 下線部Eの人物の記念碑であるベヒストゥーン碑文に関する説明としてふさわしいものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 19世紀初頭、デンマークの探検隊が王都ペルセポリスの中心部で発見した玄武岩製の記念碑である。
- イ 碑文はローリンソンが解読の端緒を発見し、その研究を発展させたヴェントリスによってその内容の大部分が明らかになった。
- ウ 王が各地で起きた反乱を鎮圧したことなどがペルシア語、エラム語、バビロニア語で記されている。
- エ ゴロアスター教の悪神アーリマンを王が打ち負かす場面が刻まれ、王は善神アフラマズダの化身であることが示されている。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

ローマの建国神話は、ホメロスによって歌われたトロイア戦争から始まる。トロイア戦争は、ギリシア連合軍とトロイアとの戦いであったが、この戦いに敗れたトロイア方の将軍アエネアスがローマ建国の遠祖となるのである。アエネアスは、焼け落ちるトロイアを脱出すると、トロイアを再建する場所を探して地中海各地を放浪する。最終的にアエネアスが辿り着いたのがイタリア半島であり、アエネアスは、ここにラウィニウムという町を建てた。アエネアスの息子アスカニウスは、のちにラウィニウムを去ってアルバ＝ロンガの王となった。このアスカニウスから数えて14代目のアルバ＝ロンガの王の娘と軍神マルスとの間に生まれたのがロムルスであり、ロムルスがローマを建国したのであった。

設問1 下線部Aの人物、あるいはその作品について述べた文として正しいものを下記のA～Eから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- A ホメロスは、サッフォーと同時代の人である。
- イ 『オデュッセイア』は、トロイア方の英雄オデュッセウスの物語である。
- ウ ホメロスの叙事詩では、神々は登場せず、人間の活動だけが描かれた。
- E 『イリアス』と『オデュッセイア』は、ともに古代ギリシア語で書かれている。

設問2 下線部Bの都市の遺跡が面する海峡の歴史について述べた文として誤っているものを下記のA～Eから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- A 第3回ペルシア戦争の時、ペルシア軍はこの海峡を渡った。
- イ 東方遠征の時、アレクサンドロス大王はこの海峡を渡った。
- ウ ビザンツ帝国の都コンスタンティノープルはこの海峡の東岸にあった。
- E 第一次世界大戦の激戦地ガリポリはこの海峡の西岸にあった。

設問3 下線部Cの人物の事績を歌った『アエネイス』の作者が生きていた時代のローマ皇帝の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dの半島には、5世紀に東ゴート王国が建てられたが、この王国の都が置かれていた都市の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関連して、ギリシア・ローマの神々について述べた文として正しいものを下記のA～Eから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- A アポロンは、ローマではマルスと同一視されていた。
- イ アフロディテは、ローマではウェヌスと同一視されていた。
- ウ アテナは、狩りと農業を司る女神とされていた。
- E ウラノスは、オリュンポス12神の一神に数えられていた。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

7世紀後半に百済、高句麗が唐と新羅の連合軍に滅ぼされると、新羅は百済の旧領域や高句麗の旧領域の一部を統合して、朝鮮半島に実質的な統一国家を成立させた。半島北部では、7世紀末に高句麗遺民の **A** が中心となり渤海を建国した。一方、日本列島では、この頃に日本国号を称するようになり、8世紀初頭には大宝律令を制定した。東アジアには唐の制度を模倣した律令国家がほぼ同時期に成立した。これらの国々は唐との間に頻繁な交流を続け、その地域は東アジア文化圏とも呼ばれる。

10世紀初頭に唐が滅びると、渤海が契丹によって滅ぼされた。新羅でも国内が分裂し、やがて **D** の地から頭角を現した **E** によって高麗王朝が建国され、**D** に都が置かれた。中国北方でもウイグルの衰退とともに契丹が力を強め、中国北方に強力な国家を建設して、やがて遼を名乗るようになった。この時期を境にして中国周辺諸国、諸民族がそれまでの中国文化の基礎の上に独自の文化を展開するようになった。

設問 1 空欄 A にあてはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B に関連して、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 渤海の都が置かれた上京龍泉府は、唐の都城制に倣った構造をしている。
- イ 新羅の社会的な基盤には骨品制と呼ばれる身分制があったため、唐の官僚制を導入するには一定の限界があった。
- ウ 日本は遣唐使を通して、僧や留学生を唐に送り、中国文化の受容に努めた。
- エ 渤海、新羅、日本は、各々唐の皇帝から爵位や官職を授けられ、唐を中心とする冊封体制のもとで外交秩序を形成していた。

設問 3 下線部 C に関連して、東アジア文化圏の指標は、漢字、儒教、律令の他に、さらに加えるとすれば何か、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 空欄 D、E に入る適切な語の組み合わせを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア D 平壤 E 王建
- イ D 開城 E 王建
- ウ D 平壤 E 太宗
- エ D 開城 E 太宗

設問 5 下線部 F に関連して、正しい記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 契丹文字は漢字を基本に、アラビア文字の影響を受けてつくられた。
- イ 西夏では、漢字の影響を受けた西夏文字を用いて仏典を翻訳した。
- ウ 金の女真文字は漢字と西夏文字の影響を受けてつくられた。
- エ 日本では、漢字から仮名文字が考案され、8世紀になると仮名文学が発達した。

〔IV〕 次の文章を読み、設問 1～7 に答えなさい。

ササン朝を滅ぼしてイランを支配したイスラーム勢力は、その後さらに勢力を伸ばし、ウマイヤ朝時代にはインダス川下流域にまで進出した。この地域に拠点を得たムスリム商人はインド洋での交易活動を活発化させ、インド西海岸の諸地域にはムスリム商人の居留地がうまれた。インド内陸部へのイスラーム勢力の進出は、**C** から独立して成立したガズナ朝のもとで本格化した。ガズナ朝はアフガニスタンからパンジャーブ地方に進出し、北インド各地への侵略を繰り返した。その後ゴール朝がガズナ朝を滅ぼし北インドへ進出するが、ゴール朝の将軍アイバクがデリーで自立してスルタンを称し、インドに最初のイスラーム王朝となる奴隷王朝を建てた。奴隷王朝と、その後続いたデリーを拠点とする 4 つのイスラーム王朝は、総称してデリー＝スルタン朝と呼ばれる。ティムールの子孫でカーブルを拠点にしていた**F** は、デリー＝スルタン朝最後の**G** を倒し、ムガル帝国の基礎を築いた。

設問 1 下線部 A の王朝の説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アナトリアに進出し、ビザンツ帝国を滅ぼした。
- イ イベリア半島に進出し、西ゴート王国を滅ぼした。
- ウ トゥール・ボワティエ間の戦いでフランク王国を打ち破った。
- エ 中央アジアに進出し、タラス河畔の戦いで唐を打ち破った。

設問 2 下線部 B に関連して、ムスリム商人の交易活動についての説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ムスリム商人がインド洋交易で用いた三角帆の木造船は、ガレオン船と呼ばれた。
- イ カーリミー商人と呼ばれるムスリム商人団が、ウマイヤ朝の保護のもと、インド洋交易で活躍した。
- ウ ムスリム商人たちは、8世紀ごろからインド東岸部に到来し、そこにキルワ、モンバサ、マリンディなどの港市を建設した。
- エ インド洋と地中海をむすぶ交易ルートは、10世紀後半になると、アッバース朝の首都バグダードを經由するペルシア湾ルートが衰え、紅海ルートが重要となった。

設問 3 空欄 C と G に当てはまる王朝名の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア C カラ＝ハン朝                      G サイイド朝
- イ C セルジューク朝                    G トウグルク朝
- ウ C サーマーン朝                    G ロディー朝
- エ C ホラズム＝シャー朝              G ハルジー朝

設問 4 下線部 D の人物が建設を開始した、デリー南方にあるインド最古の大モスクの塔の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E の時期のインドについての記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 大旅行家イブン＝バットゥータが訪れ、デリーに滞在した。
- イ ティムールが侵攻し、デリーを攻略した。
- ウ インド航路を開拓したポルトガルがゴアを占領した。
- エ ヒンドゥー国家の建設を目指しマラーター王国が成立した。

設問6 空欄Fの人物が、自らの活動をチャガタイ＝トルコ語で著した回想録の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問7 下線部Hの王朝についての記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アクバルは、マンサブダール制を整えた。
- イ シャー＝ジャハーンは、デリーにタージ＝マハルを造営した。
- ウ アウラングゼーブは、ヒन्दゥー教徒に対する人頭税を廃止した。
- エ インド大反乱で蜂起したシパーヒーにデリーで皇帝が殺害され、滅亡した。

〔V〕 次の史料を読み、設問 1～7 に答えなさい。

1. ロシアの側からみてこの戦争は、**A** 派のもとでは、この政府の資本家的性格のゆえに、無条件に侵略的な帝国主義戦争のままであり、この戦争に対するわれわれの態度については、「革命的祖国防衛主義」にいささかの譲歩も許されない。
2. ロシアにおける現在の情勢の特徴は、プロレタリアートの意識と組織が不十分なために、権力をブルジョアジーに渡してしまった革命の第一段階から、プロレタリアートと**B** 貧農層に権力を渡さなければならない**C** 革命の第二段階に移行しつつあるという点にある。
4. **D** わが党が多くの労働者 **E** のなかで少数派であり、しかも今のところ非常に少数派であるという事実を認めること。労働者 **E** が、革命政府の唯一の可能な形態であるということを、大衆に説明すること。
5. 議会制共和国ではなく——労働者 **E** から議会制共和国への復帰は一步後退である——全国に、下から上までの労働者・雇農・農民代表 **E** 共和国。警察と**F** 軍隊と官僚制の廃止。
8. われわれの直接の任務は、社会主義の実施ではなく、社会的生産と生産物の分配を労働者代表 **E** の管理に、いますぐ移行することだけである。

(出典：『西洋史料集成』平凡社、1990年より一部修正・割愛して抜粋)

設問 1 本史料の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 空欄 A に当てはまる語句として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア リヴォフ      イ ケレンスキー      ウ トロツキー      エ レーニン

設問 3 下線部 B に関連して、1861年の農奴解放令について述べた文として明白に誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 領主が保有していた農奴に対して、人格的自由が認められた。
- イ 領主は、自らに属していた土地すべての所有権を喪失した。
- ウ 農奴が耕作していた土地の所有権は、有償で与えられることになった。
- エ 農奴に与えられる土地の多くは、買取金の完済までミールの管理下に置かれた。

設問 4 下線部 C において新政権の成立を宣言した会議の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 D に該当する党派の名称として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 社会革命党      イ 立憲民主党      ウ ボリシェヴィキ      エ メンシェヴィキ

設問 6 空欄 E に当てはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 7 下線部 F に関連して、ロシア皇帝の軍事上の事績の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- |                              |   |                          |
|------------------------------|---|--------------------------|
| ア アレクサンドル 1 世：アゾフ海の制海権の喪失    | — | パーヴェル 1 世：第 2 回対仏大同盟への参加 |
| イ ピョートル 1 世：バルト海の覇権の獲得       | — | ピョートル 3 世：プロイセンとの同盟の締結   |
| ウ エカチェリーナ 2 世：オーストリア継承戦争への参加 | — | エリザヴェータ：七年戦争への参加         |
| エ エカチェリーナ 2 世：クリミア半島への進出     | — | パーヴェル 1 世：デカブリストの乱の鎮圧    |

〔VI〕 次の文章①～③は、それぞれアジアの一つの国または地域に関する記述である。これらを読んで、  
設問 1～4 に答えなさい。

- ① 辛亥革命後、中華民国・**A**・現地政府の代表が参加した交渉の場で、中国の宗主権のもとで自治を行うという条約案が提示されたが、境界画定などの問題が決着せず、中国代表は調印しなかった。1962年、**B**との間で国境をめぐる大規模な武力衝突が発生し、現在は中国と**B**がそれぞれ係争地の一部を実効支配している。
- ② **C**による植民地化の動きに対して、宗主権を主張する清朝は反発し、**C**との戦争に踏み切ったが、戦後の講和条約によって宗主権を放棄した。1940年代には現地で独立運動が高まったが、**C**がこれを弾圧したため、戦争に発展した。
- ③ 辛亥革命に際して、現地の指導者たちは**D**と連絡をとりつつ独立を宣言したが、中華民国・**D**・現地政府代表の三者間で結ばれた条約により、中国の宗主権のもとで自治を行うことになった。1946年、住民投票の結果を受けて中国は独立を認めた。1961年には国際連合に加盟した。

設問 1 空欄 A～D にあてはまる国名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 ①の国または地域に関する記述として、もっとも適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1860年代、現地のイスラーム教徒は清朝に対する大規模な反乱を起こした。
- イ 1911年に設立されたイスラーム教徒の相互扶助組織は、後に独立運動も行うようになった。
- ウ 1932年、無血革命により、憲法制定・国会開設が行われて立憲君主制に移行した。
- エ 1959年、中国の支配に反発する蜂起が弾圧されたことから、現地の指導者は**B**に亡命した。

設問 3 ②の国または地域に関する記述として、もっとも適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1637年、清朝の侵攻を受けて屈服し、朝貢国となった。
- イ 1905年、日露戦争に刺激されて、日本への留学によって学問・技術の習得をめざす運動が起こった。
- ウ 1930年、**C**が行っていた塩の専売政策などに抗議する大衆運動が起こった。
- エ 1948年、南部と北部に二つの政権が相次いで成立したが、1950年に両者の間で武力衝突が起き、他国も介入して大規模な戦争となった。

設問 4 ③の国または地域に関する記述として、もっとも適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1750年代、清朝によるジュンガル征服にともなって、清朝の統治下に組み込まれた。
- イ 1900年、義和団戦争の際に、全域が**D**によって軍事占領された。
- ウ 1939年、日本の影響下にある隣接地域との間での国境紛争が、大規模な武力衝突に発展した。
- エ 1962年、クーデタが起こって軍事政権が成立し、社会主義路線をとって産業の国有化などを進めた。



〔Ⅶ〕 次の図A～Dを見、文章を読んで、設問1～6に答えなさい。



図A フリードリヒ 《雲海を見下ろす散策者》



図B プッサン 《夏》



図C ルソー 《フォンテーヌブローの森のはずれ、夕日》



図D モリス 《アカンサス》

地球の温暖化、自然災害の増加、森林の減少など、環境にかかわる問題は現代の私たちにとってもっとも身近で深刻な問題となっているが、周辺の環境や自然に対する人々の特別な関心は、古くから美術作品の中にも見出すことができる。

設問1 図Aはドイツの画家フリードリヒの代表的作品で、壮大な自然を眼下に、たたずむ人物が描かれている。この画家が確立した崇高な自然を賞賛する画風は、ハイネの文学と同様に  主義と呼ばれる。空欄aにあてはまる言葉を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 図Bは、フランスの画家プッサンが、旧約聖書のルツ記を主題に描いたものである。前景に物語の一場面を表わしているが、人物の大きさは控えめで、むしろ背景の自然が大きく捉えられ、自然描写への関心が読み取れる。この絵は、フランス学士院を設立するなど文化政策を進めたことで知られるルイ13世の宰相により注文され描かれた。この宰相とは誰か。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア リシュリユー      イ マザラン      ウ コルベール      エ ミラボー

設問3 プッサンと同時代に活躍した画家を、次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア デューラー      イ ベラスケス      ウ ワトー      エ ダヴィド

設問4 図Cの作者テオドール＝ルソーは、パリ近郊のフォンテーヌブローの森の自然を主題に数多くの作品を描いた。この森は王室が古くから狩猟地としてきた所で、16世紀にはイタリアから新しい美術を取り入れ豪華な宮殿が建てられた。この新しい美術とは何か。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ビザンティン美術      イ ゴシック美術      ウ ロココ美術      エ ルネサンス美術

設問5 フォンテーヌブローの森にはルソーだけではなく、ほかにも多くの画家たちが訪れ、森の端にあるバルビゾン村に滞在した。当時パリで流行していたコレラから逃れてきた  は、豊かな自然のなかで暮らす農民たちの日々の生活を捉えたことで知られる。 もまたしばしばこの地を訪れては自然をよく観察して描き、のちに印象派を確立した。空欄b、cに当てはまる画家の名前は何か。組み合わせとして正しいものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア b ミレー      c モネ  
イ b ピサロ      c ミレー  
ウ b クールベ      c ゴーギャン  
エ b ゴッホ      c セザンヌ

設問6 図Dは、イギリスのデザイナー、モリスによる壁紙のデザインで、アカンサスの葉をアレンジしたものである。工業化が進む中、自然に注目し、植物や動物、昆虫等に着想を得たこのようなデザインは、イギリスだけではなく、ベルギーやフランスなど大陸でも19世紀末にかけて流行した。自然界に見出せる曲線や有機的な形態を取り入れたこの様式を何と呼ぶか。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

[以 下 余 白]